

当団の保険事故の実態について

平成 26 年度から令和 5 年度までの 10 年間に於いて、当団が保険契約者から事故連絡のあった 714 件※の実態を分析したところ、被災者の 98.9%は男性であり、保険事故の 69.9%は死亡事故で、保険事故全体の要因で多い順に「墜落、転落」34.6%、「はさまれ、巻き込まれ」18.1%、「崩壊、倒壊」9.8%となっていて、国が抽出率 1/2.4 で算出した建設業の休業 4 日以上の死傷者の要因別統計（令和 2 年）と比較すると「はさまれ、巻き込まれ」は当団の割合が大きく上回り、「崩壊、倒壊」は休業 4 日以上が 3.2%であるのに死亡は 10.5%と当団並みとなっている。

また、被災者に占める 55 才以上の割合が当団の場合圧倒的に高く不明 10 件を除いて、国の休業 4 日以上と比較すると、55～64 才で国が 18.6%であるのに当団は 25.7%、65～69 才では国が 8.5%であるのに当団は 15.6%、逆に 25～34 才は国が 16.1%であるのに当団は 6.5%と好対照をなしている。特に 65 才以上は国が 15.3%であるのに当団は 30.4%、70 才以上は国が 6.8%であるのに当団は 14.8%であるのが大きな相違点である一方、35～64 才に絞ってみると国が 57.6%であるのに対して当団も 57.1%とほぼ同水準となっている。

被災者の高齢化が年々進行しており、重度の傷病障害はいずれも 65 才以上が最も多く、国の休業 4 日以上の年齢構成とは大きく異なっており、担い手不足で高齢者に活躍してもらわなければならない現場が多いだけに安全対策と併せて労災上乗せ補償の保険の備えが必要である。

○事故の要因と死傷病別（別表 1）

事故の要因を死傷病別でみると、714 件中件数が多い順に以下の通りとなっており、「墜落、転落」を要因とする事故の発生リスクが高くなっているのは、国の休業 4 日以上と同様である。

（当団）	・ 「墜 落、転 落」	247 件（34.6%）	（国）	32.5%
	・ 「はさまれ、巻き込まれ」	129 件（18.1%）		10.4%
	・ 「崩 壊・倒 壊」	70 件（9.8%）		3.2%

※出典：厚生労働省「職場のあんぜんサイト」

うち死亡災害に絞ると、499 件で件数が多い順に以下の通りとなっている。

（当団）	・ 「墜 落、転 落」	171 件（34.3%）	（国）	37.1%
	・ 「はさまれ、巻き込まれ」	84 件（16.8%）		10.5%
	・ 「崩 壊・倒 壊」	59 件（11.8%）		10.5%

※出典：厚生労働省「職場のあんぜんサイト」

○事故の要因と年齢別（別表 2）

若年層（15～24 才）を除く年齢では「墜落、転落」及び「はさまれ、巻き込まれ」が各年齢の半数に上っているが、15～24 才では「崩壊、倒壊」及び「はさまれ、巻き込まれ」が合計 42 件のうち 19 件（45.2%）と約半数を占めている。また、交通事故（道路）にも留意が必要である。

○年齢と死傷病別（別表 3）

死亡の割合は 55 才以上が 67.8%であるのに対して、35 才未満は 76.1%を占め、特に若年層（15～24 才）は 85.7%と高い一方で、70 才以上は死亡が 68.3%で最高年齢は 84 才、被災した女性は 8 名で高齢が多く、外国人は 3 名全員死亡でいずれも 20 代前半であり、熱中症は 8 件で 7 件が死亡となっている。

なお、地域別の事故要因については、別表 4 の通りであるので参考にしていきたい。

※ 当制度の補償範囲（死亡、障害 1 級～7 級、傷病 1 級～3 級）に該当した事例が対象となっている。

<<別表1>>

○事故の要因と死傷病別

		死亡		障害1級		障害2級		障害3級		障害4級		障害5級		障害6級		障害7級		傷病1級		傷病2級		傷病3級		不明		総計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
事故の要因	墜落、転落	171	34.3%	25	50.0%	6	40.0%	11	57.9%			4	12.9%	5	27.8%	5	23.8%	16	55.2%	4	80.0%					247	34.6%
	はさまれ、巻き込まれ	84	16.8%	2	4.0%	2	13.3%	1	5.3%	6	46.2%	14	45.2%	7	38.9%	8	38.1%	2	6.9%					3	23.1%	129	18.1%
	崩壊、倒壊	59	11.8%	3	6.0%	2	13.3%					1	3.2%	1	5.6%			2	6.9%					2	15.4%	70	9.8%
	激突され	35	7.0%	2	4.0%	1	6.7%	3	15.8%	3	23.1%	4	12.9%	3	16.7%	3	14.3%	3	10.3%							57	8.0%
	交通事故(道路)	47	9.4%	3	6.0%	2	13.3%	1	5.3%			1	3.2%					1	3.4%							55	7.7%
	飛来、落下	21	4.2%	6	12.0%			1	5.3%	2	15.4%	2	6.5%	1	5.6%	2	9.5%	3	10.3%							38	5.3%
	転倒	11	2.2%	4	8.0%	1	6.7%	1	5.3%			4	12.9%									1	100.0%			22	3.1%
	おぼれ	20	4.0%																							20	2.8%
	自殺	9	1.8%																							9	1.3%
	激突	4	0.8%	2	4.0%	1	6.7%											1	3.4%							8	1.1%
	感電	5	1.0%					1	5.3%																	6	0.8%
	通勤災害	3	0.6%	1	2.0%																			2	15.4%	6	0.8%
	切れ、こすれ	2	0.4%							2	15.4%					1	4.8%									5	0.7%
	高温、低温の物との接触	4	0.8%									1	3.2%													5	0.7%
	有害物等との接触	4	0.8%																							4	0.6%
	爆発														1	4.8%										1	0.1%
	火災	1	0.2%																							1	0.1%
	動作の反動、無理な動作														1	4.8%										1	0.1%
	不明	5	1.0%	1	2.0%									1	5.6%									6	46.2%	13	1.8%
	その他	14	2.8%	1	2.0%													1	3.4%	1	20.0%					17	2.4%
	総計	499	100.0%	50	100.0%	15	100.0%	19	100.0%	13	100.0%	31	100.0%	18	100.0%	21	100.0%	29	100.0%	5	100.0%	1	100.0%	13	100.0%	714	100.0%

(注)その他に熱中症8件が含まれている。

出典:厚生労働省「職場のあんぜんサイト」(参照:令和2年 労働災害原因要素の分析・建設業、死亡災害統計確定値)より

- ・休業4日以上 「墜落、転落」32.5%、「転倒」11.3%、「はさまれ、巻き込まれ」10.4%、「飛来、落下」9.7%、「切れ、こすれ」7.9%
- ・死亡災害 「墜落、転落」37.1%、「交通事故(道路)」14.4%、「崩壊、倒壊」10.5%、「はさまれ、巻き込まれ」10.5%、「激突され」5%

<<別表2>>

○事故の要因と年齢別

		15～24才		25～34才		35～44才		45～54才		55～64才		65～69才		70才以上		不明		総計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
事故の要因	墜落、転落	6	14.3%	14	30.4%	26	28.3%	51	39.5%	71	39.2%	38	34.5%	41	39.4%			247	34.6%
	はさまれ、巻き込まれ	9	21.4%	8	17.4%	23	25.0%	17	13.2%	37	20.4%	20	18.2%	14	13.5%	1	10.0%	129	18.1%
	崩壊、倒壊	10	23.8%	5	10.9%	5	5.4%	15	11.6%	17	9.4%	10	9.1%	8	7.7%			70	9.8%
	激突され	1	2.4%	5	10.9%	7	7.6%	9	7.0%	15	8.3%	9	8.2%	11	10.6%			57	8.0%
	交通事故(道路)	7	16.7%	4	8.7%	6	6.5%	7	5.4%	16	8.8%	7	6.4%	8	7.7%			55	7.7%
	飛来、落下	1	2.4%	2	4.3%	6	6.5%	8	6.2%	8	4.4%	5	4.5%	8	7.7%			38	5.3%
	転倒			1	2.2%	1	1.1%	1	0.8%	5	2.8%	8	7.3%	6	5.8%			22	3.1%
	おぼれ	6	14.3%			5	5.4%	2	1.6%	1	0.6%	5	4.5%	1	1.0%			20	2.8%
	自殺			2	4.3%	4	4.3%	3	2.3%									9	1.3%
	激突							2	1.6%	4	2.2%	1	0.9%	1	1.0%			8	1.1%
	感電	1	2.4%	1	2.2%	1	1.1%	2	1.6%	1	0.6%							6	0.8%
	通勤災害			1	2.2%	1	1.1%	1	0.8%			1	0.9%			2	20.0%	6	0.8%
	高温、低温の物との接触							2	1.6%	1	0.6%	1	0.9%	1	1.0%			5	0.7%
	切れ、こすれ					1	1.1%	1	0.8%	1	0.6%			2	1.9%			5	0.7%
	有害物等との接触			1	2.2%					1	0.6%	2	1.8%					4	0.6%
	火災			1	2.2%													1	0.1%
	動作の反動、無理な動作							1	0.8%									1	0.1%
	爆発							1	0.8%									1	0.1%
	不明			1	2.2%	1	1.1%	2	1.6%			2	1.8%			7	70.0%	13	1.8%
	その他	1	2.4%			5	5.4%	4	3.1%	3	1.7%	1	0.9%	3	2.9%			17	2.4%
総計		42	100.0%	46	100.0%	92	100.0%	129	100.0%	181	100.0%	110	100.0%	104	100.0%	10	100.0%	714	100.0%

出典：厚生労働省「職場のあんぜんサイト」(参照：労働災害原因要素の分析・建設業)より ※本調査は建設業の休業4日以上の死傷者全数について1/2.4の抽出率で算出した数値である。

	15～24才		25～34才		35～44才		45～54才		55～64才		65～69才		70才以上		不明		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
休業4日以上 (令和2年)	427	11.0%	625	16.1%	744	19.2%	771	19.9%	721	18.6%	331	8.5%	265	6.8%	－		3,884	100.0%
35歳未満 27.1% (57.6%) 65才以上 15.3%																		

○年齢と死傷病別

○年齢と死傷病別

○当団の保険事故の概要実態調査の結果より、被災者の年齢、性別、外国人についての件数を抜粋

内訳(死亡:67、障害1級:5、障害2級:2、障害3級:5、障害4級:1、障害7級:5、不明:3)

内訳(死亡:71、障害1級:11、障害2級:3、障害3級:1、障害4級:1、障害5級:4、障害6級:3、
障害7級:2、傷病1級:5、傷病2級:1、不明2) 最高年齢84才(死亡)

内訳(死亡:4、障害1級:1、傷病1級:2、不明:1)

内訳(死亡:3)

内訳(死亡:7、傷病1級:1)

<<別表4>>

○地域別事故要因の件数について

		地域																			
		北海道		東北		関東・甲信越		東海		北陸		近畿		中国		四国		九州		総計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
事故の要因	墜落、転落	6	15.4%	58	36.9%	44	37.9%	17	37.0%	11	28.9%	20	39.2%	10	23.3%	27	38.6%	54	35.1%	247	34.6%
	転倒	2	5.1%	7	4.5%	3	2.6%			1	2.6%	3	5.9%			2	2.9%	4	2.6%	22	3.1%
	激突	2	5.1%	2	1.3%	1	0.9%			1	2.6%		0.0%					2	1.3%	8	1.1%
	飛来、落下	3	7.7%	4	2.5%	9	7.8%	1	2.2%	4	10.5%	5	9.8%	1	2.3%	1	1.4%	10	6.5%	38	5.3%
	崩壊、倒壊	4	10.3%	13	8.3%	6	5.2%	5	10.9%	2	5.3%	5	9.8%	4	9.3%	8	11.4%	23	14.9%	70	9.8%
	激突され	6	15.4%	14	8.9%	8	6.9%	2	4.3%	2	5.3%	2	3.9%	1	2.3%	11	15.7%	11	7.1%	57	8.0%
	はさまれ、巻き込まれ	6	15.4%	33	21.0%	22	19.0%	7	15.2%	8	21.1%	4	7.8%	9	20.9%	12	17.1%	28	18.2%	129	18.1%
	切れ、こすれ							1	2.2%			2	3.9%	2	4.7%					5	0.7%
	おぼれ	2	5.1%	7	4.5%	3	2.6%	2	4.3%	1	2.6%							5	3.2%	20	2.8%
	高温、低温の物との接触	3	7.7%			1	0.9%							1	2.3%					5	0.7%
	有害物等との接触			2	1.3%	1	0.9%	1	2.2%											4	0.6%
	感電					4	3.4%			1	2.6%	1	2.0%							6	0.8%
	爆発																	1	0.6%	1	0.1%
	火災													1	2.3%					1	0.1%
	交通事故(道路)	4	10.3%	10	6.4%	6	5.2%	7	15.2%	4	10.5%	4	7.8%	9	20.9%	3	4.3%	8	5.2%	55	7.7%
	動作の反動、無理な動作			1	0.6%															1	0.1%
	自殺	1	2.6%	1	0.6%	2	1.7%			2	5.3%	1	2.0%	2	4.7%					9	1.3%
	通勤災害			1	0.6%	1	0.9%	1	2.2%			1	2.0%	1	2.3%	1	1.4%			6	0.8%
	その他			2	1.3%	1	0.9%			1	2.6%	3	5.9%	2	4.7%	3	4.3%	5	3.2%	17	2.4%
	不明			2	1.3%	4	3.4%	2	4.3%							2	2.9%	3	1.9%	13	1.8%
	総計		39	100.0%	157	100.0%	116	100.0%	46	100.0%	38	100.0%	51	100.0%	43	100.0%	70	100.0%	154	100.0%	714

(注)その他に熱中症8件が含まれている。